

原発の苦しみは福島だけでいい

高校生

(福島県 17)

私は「フクシマ」という表記は、原発の落ちた「ヒロシマ」と同様、二度と繰り返してはならない過ちが起きた場所を示すものと捉えている。

なぜカタカナか。それは世界に発信しなければならぬ「Fukushima」だから。そして、原発事故で悲しむのは私たちだけではないという、現地の人のメッセージが含まれているのだと思う。

今、原発の使用済み燃料から出る高レベル放射性廃棄物の最終処分場の選定が議論されている。私は福島でいいと思う。

福島の人々は放射能に苦し

められてきた。避難を強いられ自殺した人、県外の転校先でいじめられた子ども。他県に処分場ができ、その地の人々がリスクにさらされるなら、苦しい思いをするのは私たちだけでいい。風評被害の払拭にどれだけ時間がかかるかは、よく知っているから。

福島は復興に向けて確実に一歩ずつ進んでいる。あの頃の暗く沈んだ姿はもうない。苦しみを抱えながらも前を向き、いつの日か「福の島」として生まれ変わるように。差別されようと、それを乗り越えて成長するための「フクシマ」なのだ。